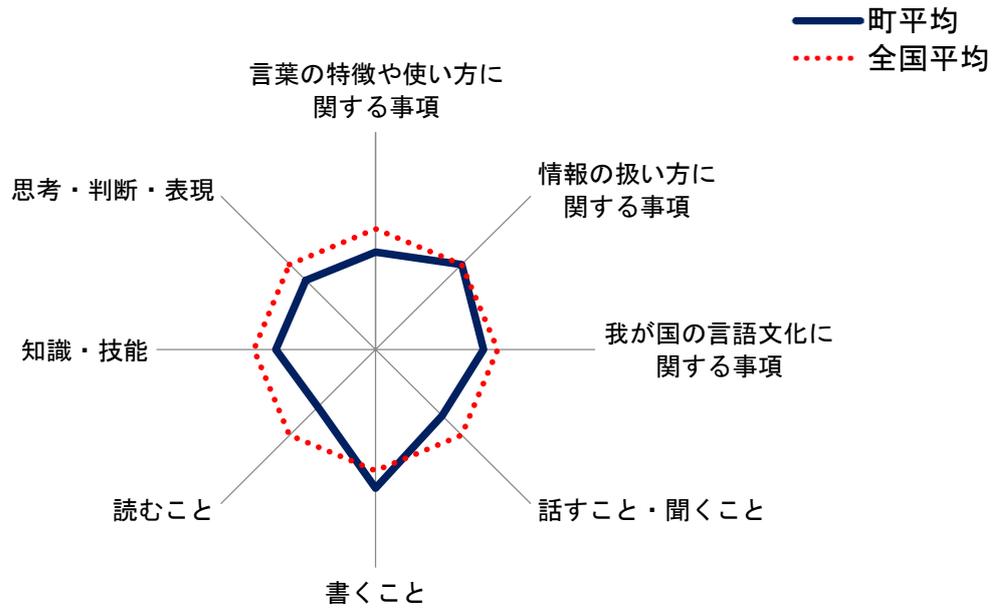
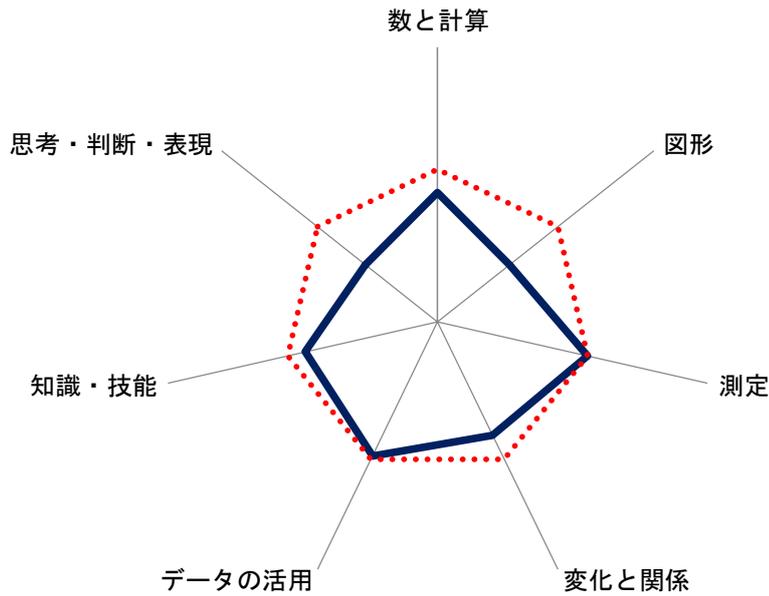


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

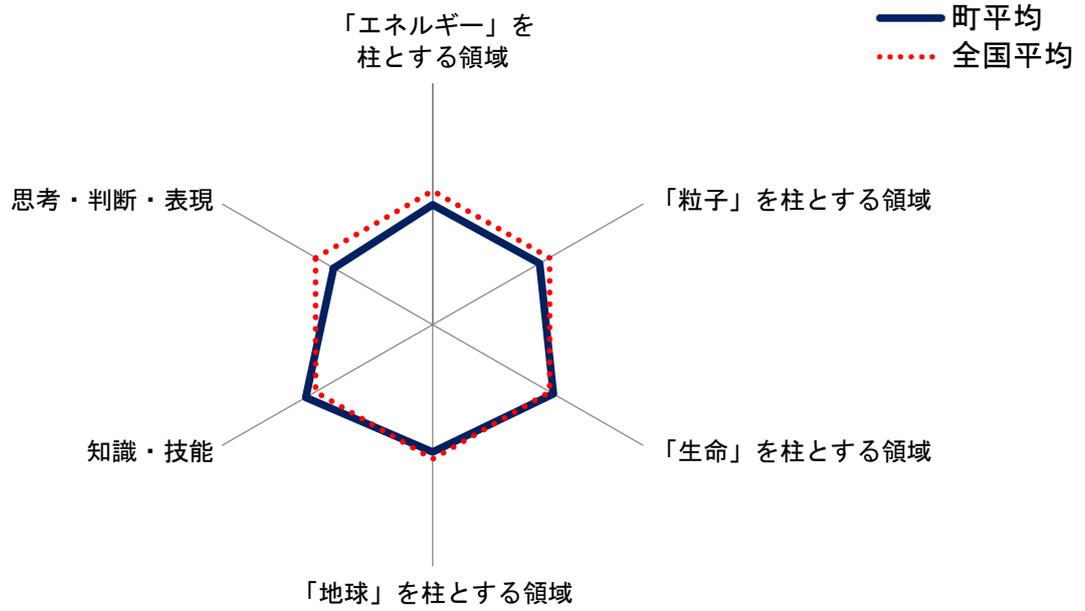


【算数】

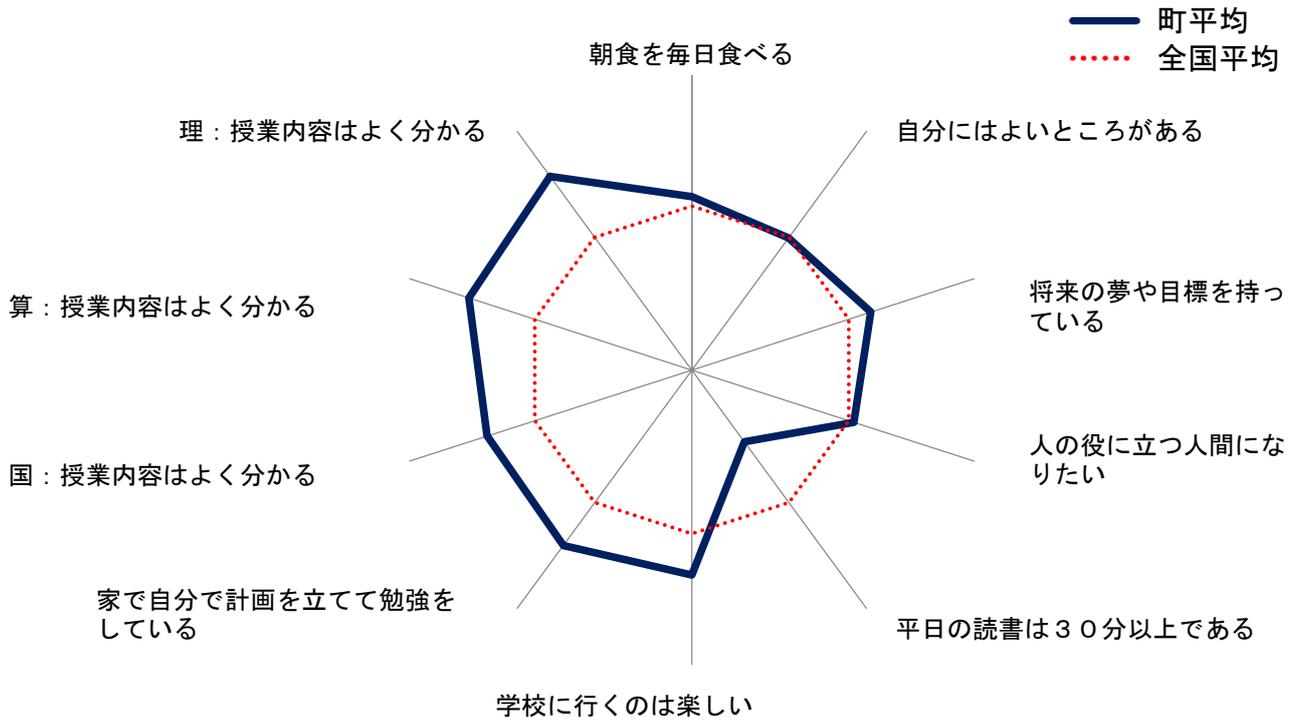


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「書くこと」、理科の「『生命』を柱とする領域」などの項目は全国平均を上回っているものの、ほとんどの項目が全国平均を下回っており、特に、国語の「読むこと」、算数の「図形」の項目は、全国との差が大きく、これらの学習内容の定着に課題が見られる。今後、児童一人一人の結果を詳細に分析し、実態に応じたきめ細かな指導を継続することで、知識及び技能の確実な定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、「朝食を毎日食べる」「学校に行くのは楽しい」「家で自分で計画を立てて勉強をしている」などの項目が大幅に改善され、良好な結果である。一方、「平日の読書は30分以上である」の項目は、全国平均を大きく下回っており、今後も、読書活動のより一層の充実に向けた取組を重ね、読書に親しむ習慣づくりが望まれる。